北国の大地に旅行けば 峻険の峰を慕いて 茫洋の海に憧れ

果てしなく広ごれる地平線は 溢れ満つ夢若さ

厳しかる努めの道に 曇りなき心 求め

結ばれし二年の宿なれや 人の世の旅にして 真なる美を探らんと

> 尊しや若き日の夢涙して誓いし言葉 思い出声もなく偲ばんや 春秋の十年の後に 移り行く時にはあれど

> > 三浦清一 前野紀 郎君 一君 作曲 作歌